

●学校の概要

学校名	水戸看護福祉専門学校		
認可	平成 20 年 3 月		
設置者	学校法人 八文字学園		
学校長	八文字 和宏		
所在地	〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-16-12		
電話	029-221-8800	F A X	029-221-8858
学校情報公開	URL : www.mito.ac.jp		
総定員	500 名 80 名 (教育・社会福祉専門課程) 420 名 (医療専門課程)		
設置学科	介護福祉学科 (昼間 2 年) 看護学科 (昼間 3 年、通信 2 年)		
教育目標			
地域で活躍する看護職や対人援助職である介護福祉士の育成と育成に必要となる豊かな人間性、創造性、協調性、そして実践力の専門性の習得と確立を教育目標とします。			
学校の特色			
水戸看護福祉専門学校の主な特色は以下の通りです。 (1) 福祉・保健・医療分野における多様な資格取得を支援する充実の教育体制 (2) 圧倒的に高い有効求人倍率と就職率、そして第 1 希望内定率 (3) 地域の中核病院や介護施設との連携を重視し、社会貢献できる学校づくりができています。			
キャリア教育			
学校法人八文字学園の基本コンセプトである「人を育てる学園」に即して、「コミュニケーション能力」、「プレゼンテーション能力」、そして「よりよいマナー」という 3 つの柱を掲げ、社会が求める人材教育を行います。そのために、地域と連携して看護実習、介護実習、インターンシップ実習、各種ボランティアの参加を積極的に推し進め、資格を取得します。			

●教職員数

学校長	教員	講師	事務職員	計
1	17	111	9	138

● 収容定員

学科	収容定員
介護福祉学科	80
看護学科（3年課程）	120
看護学科（通信課程）	300

● 学 費（1年次）

費目	介護福祉学科 (2年課程)	看護学科 (3年課程)	看護学科 (通信課程)
入学金	100,000	150,000	100,000
実習費	100,000	170,000	30,000
施設設備費	160,000	200,000	
授業料	600,000	600,000	400,000
その他	165,000	276,500	60,000
合計	1,125,000	1,396,500	590,000

●各学科の教育（介護福祉学科）

入学者に関する受け入れ方針（アドミッションポリシー）	
1. 実践的な専門知識や技術の習得に強い興味と熱意をもっている人 2. 人の気持ちに共感でき、豊かな人間性を有する人 3. 協調性があり、コミュニケーション能力をもち、問題解決を高めようとする人	
カリキュラム	
・科目編成及び授業時数 表1（科目編成表） 参照	
進級・卒業の要件（成績評価基準、卒業・修了の認定基準）	
1. 成績評価	成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、50点以上を合格とする素点による評価 ・A（80点以上） ・B（70点以上） ・C（60点以上） ・D（不合格）
2. 進級要件	学則施行細則第10条のとおり
3. 卒業要件	学則施行細則第11条のとおり
目標とする資格・検定試験	
・介護福祉士 ・介護事務管理士 ・福祉住環境コーディネーター検定2級および3級 ・認知症ライフパートナー検定2級および3級 ・社会福祉法人会計簿記初級 ・全経文書処理検定1級～3級 ・福祉英語検定3級および4級 ・心理学検定2級 ・メイクセラピー検定3級 ・メンタルヘルスマネジメント検定2種および3種	
資格・検定試験の合格実績	
・介護事務管理士 ・福祉住環境コーディネーター検定3級 ・認知症ライフパートナー検定3級 ・認知症ライフパートナー検定2級 ・社会福祉法人会計簿記初級 ・全経文書処理検定2級 ・全経文書処理検定3級 ・福祉英語検定4級 ・メイクセラピー検定3級 ・メンタルヘルスマネジメント検定2種 ・メンタルヘルスマネジメント検定3種	
卒業後の進路（主な就職先）	
・介護老人福祉施設、介護老人保健施設、障害者支援施設 ・グループホーム、福祉用具貸与事業所、その他民間企業 ・大学編入	

表1 (科目編成表)

分類			授業科目名	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択					講 義	演 習	実 習 ・ 実 技
○			人間福祉論	1年前期	30	2	○		
○			人間関係論	1年前期	30	2	○		
○			手話	1年前期	30	1		○	
○			社会福祉の基礎	1年前期	30	2	○		
○			法と社会保障	1年後期	30	2	○		
○			文化と礼作法（国際教養）	1年前期	30	2	○		
○			文化と礼作法（美容福祉）	2年前期	60	4	○		
○			情報リテラシー	1年後期	30	1		○	
○			介護福祉論Ⅰ	1年前期	60	4	○		
○			介護福祉論Ⅱ	1年後期	30	2	○		
○			介護福祉論Ⅲ	2年前期	30	2	○		
○			介護の基本（リハビリ）	2年前期	30	2	○		
○			行動支援（応用行動分析）	2年後期	30	2	○		
○			コミュニケーション	1年後期	30	1		○	
○			対人関係論	2年前期	30	2	○		
○			生活自立支援Ⅰ	1年前期	60	2		○	
○			生活自立支援Ⅱ	1年後期	60	2		○	
○			生活自立支援Ⅲ	2年前期	30	1		○	
○			生活自立支援Ⅳ	2年後期	30	1		○	
○			家政学	2年前期	30	2	○		
○			レクリエーション活動援助法Ⅰ	1年前期	60	2		○	
○			レクリエーション活動援助法Ⅱ	1年後期	30	1		○	
○			生きがい支援技術Ⅰ	1年後期	30	1		○	
○			生きがい支援技術Ⅱ	2年前期	60	2		○	
○			生きがい支援技術Ⅲ	2年後期	30	2		○	
○			介護過程理論Ⅰ	1年前期	60	4	○		
○			介護過程理論Ⅱ	1年後期	30	2	○		
○			介護過程実践	2年前期	30	2	○		

○			介護サービス論	1年後期	30	2	○		
○			介護総合演習Ⅰ	1年前期	60	2		○	
○			介護総合演習Ⅱ	2年後期	60	2		○	
○			介護総合演習Ⅲ	2年前期	30	1		○	
○			介護実習Ⅰ	1年前期	48	1			○
○			介護実習Ⅱ	1年後期	96	2			○
○			介護実習Ⅲ	1年後期	120	3			○
○			介護実習Ⅳ	2年前期	160	4			○
○			介護実習Ⅴ（在宅介護実習）	2年後期	26	1			○
○			基礎心理	1年後期	30	2	○		
○			生涯過程	2年後期	30	2	○		
○			認知症の理解Ⅰ	1年前期	30	2	○		
○			認知症の理解Ⅱ	1年後期	30	2	○		
○			障害の理解Ⅰ	1年後期	30	2	○		
○			障害の理解Ⅱ	2年後期	30	2	○		
○			基礎医学Ⅰ	1年後期	30	2	○		
○			基礎医学Ⅱ	2年前期	30	2	○		
○			基礎医学Ⅲ	2年後期	30	2	○		
○			精神保健	2年後期	30	2	○		
○			介護事務Ⅰ	1年後期	30	1		○	
○			介護事務Ⅱ	2年前期	60	2		○	
○			住環境支援技術Ⅰ	1年前期	30	2	○		
○			住環境支援技術Ⅱ	1年後期	30	2	○		
○			卒業研究	2年通年	120	4		○	
○			医療的ケア講義	1年通年	68	4	○		
○			医療的ケア演習	2年通年	72	2	○		
計					2390	110			

●各学科の教育（看護学科）

<p>入学者に関する受け入れ方針（アドミッションポリシー）</p>	
<p>1. 医療職者として3年間または2年間の過密なカリキュラムをこなし、実践的な専門知識や技術の習得に強い興味と熱意をもっている人</p> <p>2. 人の気持ちに共感でき、豊かな人間性を有する人</p> <p>3. 一定以上の学力と規則正しく礼儀正しい生活態度を有している人</p>	
<p>カリキュラム</p>	
<p>・科目編成及び授業時数 別表1（教育課程） 参照</p>	
<p>進級・卒業の要件（成績評価基準、卒業・修了の認定基準）</p>	
1. 成績評価	<p>成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、50点以上を合格とする素点による評価</p> <p>・A（80点以上） ・B（70点以上） ・C（60点以上） ・D（不合格）</p>
2. 進級要件	<p>学則施行細則第10条のとおり</p>
3. 卒業要件	<p>学則施行細則第11条のとおり</p>
<p>目標とする資格・検定試験</p>	
<p>・看護師（国家資格）</p>	

別表 I		教育課程（看護学科）									
分 区	教育内容	教 科 目	全 体		1年		2年		3年		
			時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位	
基礎分野	科学的思考の基礎	論理的思考	30	1							
		物理学	15	1	15	1					
		情報科学と統計	30	1	30	1					
		哲学	30	1	30	1					
		心理学	30	1			30	1			
		家族と社会	30	1	30	1					
		教育学	15	1	15	1					
		人間関係論Ⅰ（コミュニケーション）	30	1	30	1					
		人間関係論Ⅱ（カウンセリング）	45	2			45	2			
		文化講座	15	1	15	1					
臨床英語（臨床会話）	30	1			30	1					
中国語（臨床会話）	15	1	15	1							
			315	13							
専門基礎分野	人体の構造と機能	生化学	30	1	30	1					
		解剖生理学Ⅰ	30	1	30	1					
		解剖生理学Ⅱ	30	1	30	1					
		解剖生理学Ⅲ	45	2	45	2					
		薬理学の基礎	30	1	30	1					
	疾病の成り立ちと回復の促進	病理学総論（診断と治療*がんの診断と治療）	30	1	30	1					
		病理学各論Ⅰ（呼吸器・循環器疾患）	30	1	30	1					
		病理学各論Ⅱ（血液・造血器疾患、消化器疾患）	30	1	30	1					
		病理学各論Ⅲ（腎、泌尿器、生殖器疾患）	30	1	30	1					
		病理学各論Ⅳ（内分泌、栄養代謝疾患と食事療法）	30	1	30	1					
		病理学各論Ⅴ（脳神経・運動器疾患とリハビリ）	30	1	30	1					
		病理学各論Ⅵ（微生物、感染症）	30	1	30	1					
		病理学各論Ⅶ（精神）	30	1			30	1			
	病理学各論Ⅷ（小児、女性生殖器）	30	1			30	1				
	健康支援と社会保険制度	医療概論	15	1	15	1					
医療安全		15	1					15	1		
公衆衛生		15	1			15	1				
関係法規		15	1			15	1				
社会福祉	30	2			30	2					
			525	21							
専門分野Ⅰ	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ：看護学概論	30	1	30	1					
		基礎看護学Ⅱ：看護の共通技術	60	2	60	2					
		基礎看護学Ⅲ：日常生活の援助技術	60	2	60	2					
		基礎看護学Ⅳ：診療の補助技術	30	1	30	1					
		基礎看護学Ⅴ：ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメント	30	1	30	1					
		基礎看護学Ⅵ：看護論と看護過程	60	2	60	2					
		基礎看護学Ⅶ（臨床看護総論）	30	1	30	1					
		*臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	45	1	45	1				
	基礎看護学実習Ⅱ	90	2			90	2				
				435	13						
専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護学Ⅰ：成人看護学概論	30	1	30	1					
		成人看護学Ⅱ：経過別看護（急性期）	30	1			30	1			
		成人看護学Ⅲ：経過別看護（周手術期）	30	1			30	1			
		成人看護学Ⅳ：経過別看護（慢性期）	30	1			30	1			
		成人看護学Ⅴ：経過別看護（リハビリテーション）	30	1			30	1			
		成人看護学Ⅵ：経過別看護（緩和ターミナル期）	30	1			30	1			
	老年看護学	老年看護学Ⅰ：概論（講義）	30	1	30	1					
		老年看護学Ⅱ：高齢者の生活を整える看護	30	1	30	1					
		老年看護学Ⅲ：高齢者のヘルスアセスメント	30	1			30	1			
		老年看護学Ⅳ：高齢者の疾患と看護	30	1			30	1			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ：概論	30	1	30	1					
		小児看護学Ⅱ：健康障害をもつ小児の生活と看護	30	1			30	1			
		小児看護学Ⅲ：病児の看護	30	1			30	1			
		小児看護学Ⅳ：看護過程	30	1			30	1			
	母性看護学	母性看護学Ⅰ：概論	30	1	30	1					
		母性看護学Ⅱ：性と生殖	15	1			15	1			
		母性看護学Ⅲ：マタニティサイクル	30	1			30	1			
		母性看護学Ⅳ：看護過程	30	1			30	1			
		精神看護学Ⅰ：概論	30	1	30	1					
		精神看護学Ⅱ：援助論1	30	1			30	1			
精神看護学	精神看護学Ⅲ：援助論2	30	1			30	1				
	精神看護学Ⅳ：看護過程	15	1			15	1				
	*臨地実習	成人看護学実習Ⅰ	90	2					90	2	
	成人看護学実習Ⅱ	90	2					90	2		
成人看護学実習Ⅲ	90	2					90	2			
老年看護学実習Ⅰ	90	2			90	2					
老年看護学実習Ⅱ	90	2					90	2			
小児看護学実習Ⅰ	45	1			45	1					
小児看護学実習Ⅱ	45	1					45	1			
母性看護学実習	90	2					90	2			
精神看護学実習	90	2	1350	38				90	2		
統合分野	在宅看護論	在宅看護論Ⅰ：概論	30	1			30	1			
		在宅看護論Ⅱ：看護技術	30	1			30	1			
		在宅看護論Ⅲ：看護過程	30	1			30	1			
		在宅看護論Ⅳ：地域看護	15	1			15	1			
	看護の統合と実践	救急看護	15	1					15	1	
		看護管理	15	1					15	1	
		災害看護・国際看護	30	1					30	1	
		看護研究	30	1					30	1	
	*臨地実習	在宅看護論実習	90	2					90	2	
	看護の統合と実践実習	90	2					90	2		
			375	12							
	7	3000	97	3000	97	1125	41	1005	34	870	22

●その他の教育活動

学校行事等
スポーツ大会（介護福祉学科、看護学科） 学園合同バスハイク（介護福祉学科、看護学科） 国際福祉機器展見学（介護福祉学科）学会参加および学会発表（介護福祉学科） 実習反省会および卒業研究発表会（介護福祉学科、看護学科）病院の解剖見学（看護学科） 宣誓式（ナイチンゲールの誓い：看護学科） 正常解剖見学（看護学科）
ボランティア活動等
地域清掃活動（年3回） 献血活動（年2回） 実習病院の依頼行事の参加 障害者スポーツイベント、障害者文化活動イベントへの参加（年2～3回）地域社会福祉施設 への定期不定期のボランティア活動 など

●学生支援

学生生活支援
担任および副担任による生活指導の実施 担任および副担任による個別相談の対応 精神保健福祉士らによる個別相談の対応 スクールカウンセリング（月2回定期的） Facebook を活用した、学年を越えた学生間交流（OGO含む）の促進 など
経済的支援
日本学生支援機構奨学金制度活用、介護福祉士等修学資金・看護師修学資金の促進 生活福祉資金貸付制度、母子福祉資金、国の教育ローンの紹介 特待生入学生制度（資格特待、学業特待）、オープンキャンパス特典、精勤特待生制度の整備 備 電車通学者に対する定期券半額負担制度 水戸駅から当校までのスクールバスの整備 学校近郊のアパート等の紹介制度 遠隔地学生のための、一人暮らし支援制度の整備（家賃一部負担） 学生支援センターの個別対応による経済的支援の実施（学費分納入等） など
就職支援
学生および保護者を対象とした就職説明会の実施 個別就職相談、個別面接指導、個別履歴書作成指導などの徹底した個別就職支援 病院等を招いての就職説明会 就職活動を意図した、在学中における社会福祉施設及び病院のアルバイトの紹介 など
その他の支援
・課外における検定試験対策授業 ・国家試験対策授業実施 1回/週（学生だれもが受講できる） ・Facebook を利用した、ユビキタス式コミュニケーション環境を構築し、学生間教員間の 双方向的情報交換、生活指導、教育指導、質疑応答、検定対策、就職斡旋の実施。